

7-1 検証結果【避難所トイレ】

大雨、洪水などの水害では、長期間にわたって上下水道が使用できない状況が想定されるため、避難所での携帯トイレの設置等を検証した。

携帯トイレの設置

1. 携帯トイレの設置手順

○準備

- ①便器に掛ける大きめのゴミ袋を用意する。
- ②養生テープを8切れぐらい切り取っておく。
- ③フタ、便座を上げ、大きめのゴミ袋を便器内に設置する。
- ④養生テープで便器の外側にゴミ袋を固定する。
※この状態にして、個室に携帯トイレを準備しておく。

○使用者が設置

- ⑤便座をおろし、携帯トイレを設置する。
- ⑥袋の端を便座に巻き込むように設置する。
- ⑦凝固剤を入れて用を足す。
- ⑧用が済んだら袋の口を束ね、密閉するように縛る。
(ヒモなどが付属している製品もある。)
- ⑨トイレに置いてあるフタ付きの専用ゴミ箱へ捨てる。
- ⑩最後に手洗い（または消毒）をする。

2. トイレ専用の清掃用具等の設置

使用者自ら清掃、消毒ができるようにトイレに専用の消毒セットを設置した。

また、個室内に二度拭き不要の住宅用洗剤（消毒効果のあるもの）を設置してトイレトーパーと併用して便座を清掃できるようにした。

専門家の指導・課題

1. 断水時におけるトイレへの備え

食事は無くても我慢できるが、トイレは行きたいと思ってからは我慢できない。

断水時のトイレは、すぐに対処しなければならない重要な問題となる。

避難所での携帯トイレの備蓄や在宅避難に備えて家庭での携帯トイレの備蓄が重要となる。

2. 床を含めた感染拡大防止

糞便から新型コロナウイルスが検出されており、トイレは、最も感染リスクの高い場所となる。

スリッパや靴など、床面からの感染拡大のリスクが高いため、トイレ専用のスリッパは必ず設置する。

ただ、トイレ専用スリッパも共同で使用する物であり、定期的な消毒が必要であるため、靴のまま履けるスリッパも有効である。

靴のまま履けるスリッパは、屋外の仮設トイレでも使用できるため、トイレを介した感染防止を図る上でも有効である。

3. 清掃時の防護

トイレの清掃は、ゴミを取り扱う場合と同じように感染リスクが高い作業となることから、マスク、目の防護（フェイスシールド等）、ゴム手袋、ガウン（半袖可能）を着けて作業し、作業後は手洗い（または消毒）を行う必要がある。

4. 携帯トイレの使用方法的表示

断水時のトイレの汚損は、取り返しが付かない。（糞便が流せず、個室自体を封鎖するしかない。）誰でも携帯トイレで用を足せるように、イラストや多言語で使用方法をトイレ内に表示する必要がある。

7-2 検証状況【携帯トイレの準備・設置 写真等】



○シューズのまま履くスリッパ



○シューズのまま履いた状況
スリッパには、
『シューズのままお履きください』
と記載
マットには、
『こちらにお戻してください』
と記載



○大きなゴミ袋の設置
養生テープで周囲を固定

手順③フタ、便座を上げ、大きめのゴミ袋を便器内に設置

手順④養生テープで便器の外側にゴミ袋を固定



○ゴミ袋を固定した状況
便座は上がった状態

準備完了

※使用する人が携帯トイレを設置



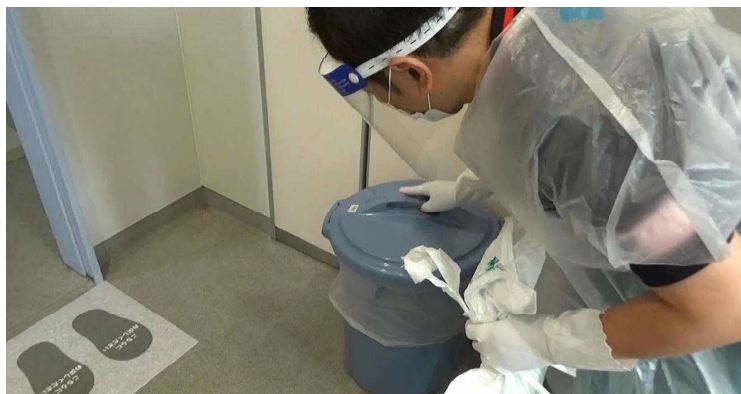
○携帯トイレを設置した状況
便座をおろして携帯トイレを設置

手順⑥袋の端を便座に巻き込むように設置



○使用済み袋を縛っている状況

手順⑧用が済んだら袋の口を束ね、密閉するように縛る



○専用のフタ付きゴミ箱
自分で捨てるようにトイレに設置

手順⑨トイレに置いてあるフタ付きの専用ゴミ箱へ捨てる。



○最後に手洗い
断水であれば、アルコールで消毒

手順⑩最後に手洗い（断水時は消毒）をする。